

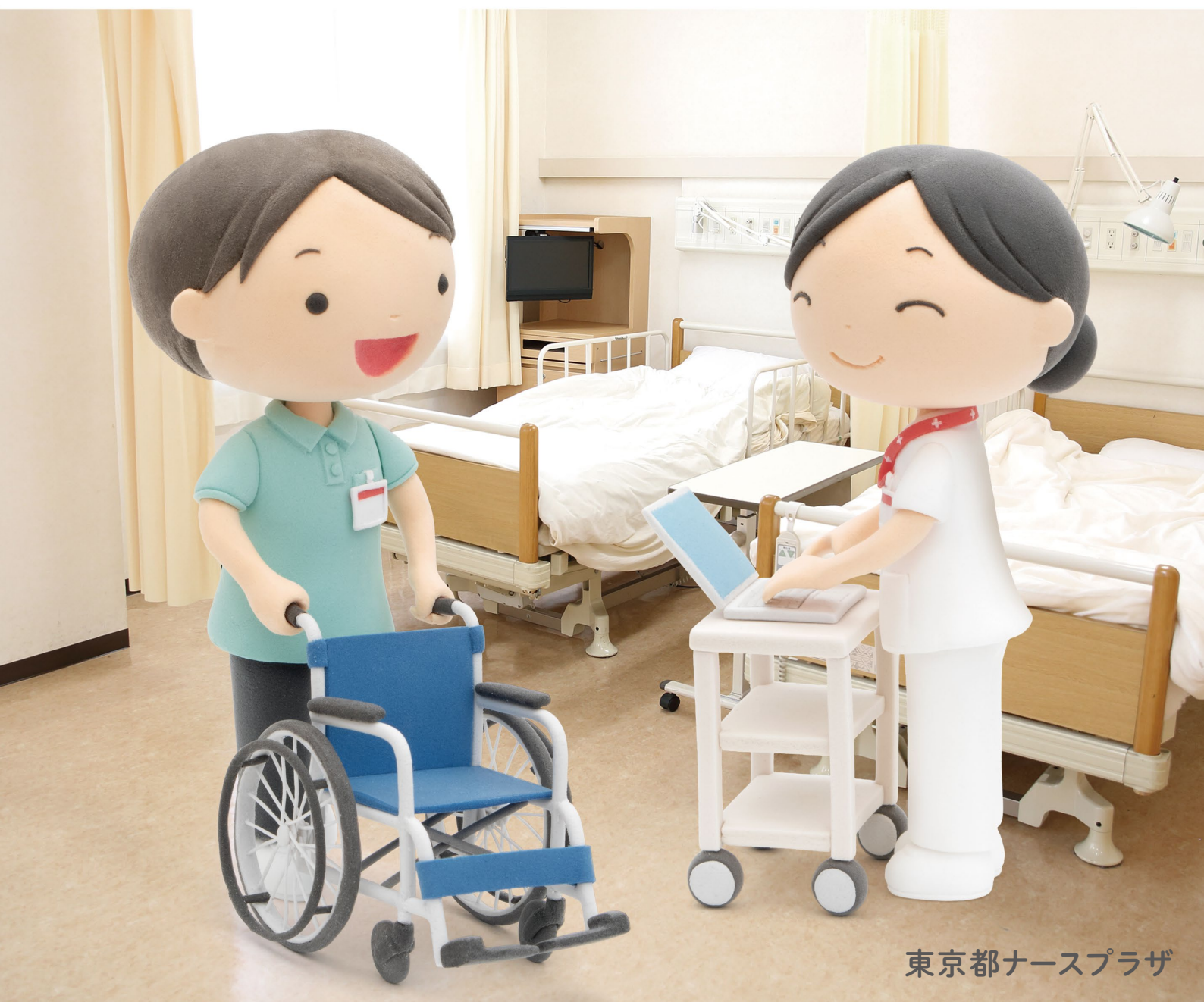
やっぱり 看護が好き

《特集》

看護サービスの質向上のために現場を支えるサポーター
看護補助者の求人取り扱い始めました

これからのプラチナナース向けイベント

アウトリーチ型支援を利用して、認定看護師と一緒に現場の課題を解決しよう！



看護サービスの質向上のために現場を支えるサポーター 看護補助者の求人取り扱い始めました

看護職の業務をサポートする「看護補助者」が、いま多くの医療機関で求められています。そして看護職と協力し、きめ細やかな患者ケアを実現しています。東京都ナースプラザでは2025年4月から、看護補助者の無料職業紹介やオンデマンド研修を開始しました。ここでは、「ふれあいナースバンク就職相談会」の様子と、看護補助者のお仕事の実際について都立広尾病院を例にご紹介します。

看護職と看護補助者のふれあいナースバンク就職相談会

「ふれあいナースバンク就職相談会」は、病院・施設とのコミュニケーションイベント。2025年度は5回予定しています。第1回目はJR立川駅近くの立川商工会議所で開催されました。参加施設数は32施設で、そのうち11施設が看護職と同時に看護補助者の求人募集も行っていました。

この日はたくさんの方が来場され、みなさん興味のある施設の担当者と積極的に面談。複数の施設を回る人も多く、会場は熱気にあふれていました。

当日、看護補助者を希望し面談された3人に、お話を伺いました。



●Aさん(40代、女性)

子どもができるまで、大学病院で看護師として働いていました。できれば看護師の仕事に戻りたいのですが、ブランクなど不安があるので、看護師の仕事を客観的に見て、考えてみたいと思い、まずは看護補助者として医療の現場に復帰してみようと思いました。

●Bさん(70代、男性)

定年までは福祉関連、定年後は病院の研究機関や学校事務員をして働いていた経験が活かせるのではないかと、看護補助者という仕事に興味を持ちました。仕事内容を聞いて、ライフワークにできるのではないかと思います。まずは看護補助者の研修を受けてみようと思っています。

●Cさん(40代、女性)

かつて医療事務の仕事をしていたことと、娘が看護師をしているので医療に携わる仕事に興味がありました。今は医療とは関係ない仕事をしていますが、看護補助者なら長く働けるのではないかなと思いました。いろいろな施設の方の話を聞いて、前向きに検討したいです。

オンデマンド研修 ナースプラザによる看護補助者としての就業に向けた研修(無料)

ナースプラザでは、看護補助者の仕事に興味のある方を対象にしたインターネットによる研修を行っています。研修内容やお申込み・受講方法についてはホームページをご覧ください。



<https://www.np-tokyo.jp/important/66173/>

東京都立広尾病院における看護補助者の活動状況

看護補助者は看護チームの一員として、もはやなくてはならない存在

東京都立広尾病院では、2022年度より看護補助者(以下、補助者)を導入。2025年5月現在、16名の補助者が一般病棟をはじめ手術室や外来に配属され、看護職のサポート業務を行っています。看護部長の藤井智恵子さんと補助者導入プロジェクトメンバーであった看護師長の川崎美加さんにお話を伺いました。



看護サービスの質向上目的と診療報酬加算により導入を開始

導入の背景としては、看護職がその専門性を発揮し、業務に専念するために、看護業務の一部を担ってもらい、それにより看護サービス全体の質の向上につなげたいという目的がありました。

看護職にとって業務の軽減は、働きやすい環境を作ることができ、職場への定着にもつながるのではないかという思いがありました。また、2022年度の診療報酬改定で、夜間看護補助体制加算が追加されたことも、導入できた大きな理由です。

補助者をお願いしている業務内容は病室内の環境整備、シーツ交換やベッドメイキング、手術後のシーツ交換、検査や処置の伝票準備、カルテの搬送などです。直接ケアとしては、看護職と一緒におむつ交換や入浴介助、食事の配下膳、患者さんの搬送、車椅子の移乗、移送などです。補助者導入前はこれ



らの業務をほとんど看護職が行っていました。特に夜間は少人数体制になるため、補助者が入ってくることによって看護職の業務負担はかなり軽減されています。「補助者さんがいてくれるおかげで看護業務に専念でき、定時に終わることができる」という声も多く、今や看護チームの一員として、なくてはならない存在になっています。

補助者の新任研修とラダー制度により、看護サービスの質を担保

補助者導入にあたり、補助者マニュアルと技術チェックリストを作成し、それに則り育成しています。入職時には、3日間の新任研修で補助者として必要な知識やスキルを学びます。また、5段階のラダー制度を取り入れて業務遂行や技術の評価を行い、各自の段階を可視化できるようにしています。さらに、2025年度より東京都立病院機構全体の看護補助者ガイドラインの活用を始めました。

【東京都立広尾病院】



東京都立病院機構 東京都立広尾病院
〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿2-34-10
<https://www.tmhp.jp/hirouo/index.html>
病床数 408床(一般387・精神30)
看護職員 417人

ラダー制度は、自他ともにその人の段階がわかるので、それが看護サービスの質の担保につながっていると思います。

先日、その第1段階のラダーに承認された補助者を表彰しました。本人は「看護チームの仲間」という思いが沸いた様子で、私たちが思っていた以上に喜んでくれ、モチベーションアップにつながっていることを実感しました。今後は補助者が主体性をもって活動し、新しく入った補助者を指導できるようにリーダーを育てていきたいと考えています。

補助者へのタスクシェアにより、看護職が患者さんへのケアに時間が使えることで、患者さんの回復促進につながるなど、補助者導入のメリットを強く感じています。

これからのプラチナナース向けイベント

● プラチナナース就職相談会

● 2025年9月27日(土) 会場：東京たま未来メッセ

“60歳以上の看護職歓迎”の40施設が出展する就職相談会です。今回は初めて八王子市で開催します。併せて看護補助者の募集施設も出展予定です。看護職・看護補助者のお仕事をお探しの方は、年齢制限なくどなたでもご参加いただけます。あなたらしく働ける職場を探してみませんか？



東京たま未来メッセ：JR八王子駅北口 徒歩5分 または京王八王子駅中央口 徒歩2分

● プラチナナースセミナー

2025年度後半のプラチナナースセミナーは、キャリア後期の生き方・働き方をテーマに開催の予定です。

● 2025年10月25日(土) 愛されシニアの作り方 一輝くナースの生き方働き方

● 2026年1月27日(火) ウェルビーイングな生き方・働き方

開催時間 13:30～16:00

開催場所 東京都ナースプラザとWebのハイブリッド開催

● プラチナナース職場体験会

自分に合った働き方・職場は、どんなところがあるだろう？ いろいろな職場での看護業務の見学・体験を通して、そこで働く看護職のイメージを持ち、今後の職場選択の幅を広げることを目的とした半日程度の体験会です。特別養護老人ホーム、デイサービス、看護小規模多機能型居宅介護など、いろいろな施設で体験できます。

プラチナナース向けイベントの詳細、お申込みは、東京都ナースプラザホームページをご確認ください▶



今年もやります！ 看護のお仕事応援フェア

2025年11月22日(土) 10:00～16:00

JR御茶ノ水駅、地下鉄千代田線新御茶ノ水駅 下車すぐ
御茶ノ水ソラシティ カンファレンスセンター

合同就職相談会、実技体験会
など盛りだくさん！

事前登録していただくとスムーズに入場できます



アウトリーチ型支援を利用して、 認定看護師と一緒に現場の課題を解決しよう！

ーアウトリーチ型定着促進支援 認定看護師による集中支援コースー

2024年度よりアウトリーチ型定着促進事業の一環として、ケアの質向上を目指し「認定看護師による集中支援コース」を開始しました。認定看護師(CN)が病院に1年間継続的に訪問し、看護管理者の課題解決に向けての取り組みを、専門性を活かして病院スタッフに現場での実践を支援します。

今回は皮膚・排泄ケア認定看護師として褥瘡ケアに携わった西亜紀子さんと坂下守弘さんに、活動内容を伺いました。

地域連携病院の褥瘡ケアの現状を知ることができ、 その経験を自院の取り組みにも活かしていきたい。

私が支援した施設は150床の地域連携病院でした。目標は褥瘡に関する知識や技術を習得し、褥瘡発生率減少および苦痛緩和をすることです。まず、褥瘡委員会メンバーとラウンドを行い、患者さんの創傷の状態や処置内容、除圧の方法を確認し、普段行っている処置の方法を確認しながら創傷の洗浄方法や軟膏の使い方などについてアドバイスをしました。

支援期間の後半には、皮膚状態の観察と対応力が身についたことで治癒率が向上し、発生率の減少につながりました。先方の看護部長から、私がケアに入ることで、皆さんがとても積極的になっていると言

われ、励みとなっていることに喜びを感じました。

支援病院では、拘縮のケアに難渋している現状を知り、自院は急性期病院なので早期のリハビリ介入の重要性を改めて目の当たりにし、チーム医療を推進していきたいと感じました。今回の経験を踏まえ、自院の看護や今後の支援病院への活動に活かしていきたいと思います。



褥瘡ケアのマニュアルを現場で活用できるものに改定。 「CNがいらないから自分たちで頑張る」姿勢に刺激を受ける。

支援施設は112床の療養病院で、まず、スタッフとともに褥瘡の予防ラウンドでケアのポイントをアドバイスすることから始め、次に全体に向けて褥瘡やスキンケアなどについての勉強会を開きました。現場では褥瘡の観察の仕方や記録のつけ方を指導しました。褥瘡ケアのマニュアルはあったのですが、有効活用されていなかったので使いやすいものに改訂しました。今後はこれを病棟に浸透させ、活用してもらう予定です。

1年間関わっていく中で、ポジショニングの工夫で再発を防ぐなど、予防スキルの向上が見られました。支援施設の規模で「できることと、できないこと」

を考えながら改善していったことを感謝され、大変光栄に思いました。

施設が小規模ゆえのメリットとして共通認識がしやすく、私のアドバイスもすぐ伝わり実践してくれました。また、CNがいなかったために自分たちで一所懸命に調べ解決しようとする姿勢に、私のほうがとても刺激を受けました。



東京都看護職員地域確保支援事業(復職支援研修)のご案内

離職中の看護職が身近な地域で研修を受けることで、再就業への意欲を向上させ、再就業の促進を図ることを目的としています。

★東京都による東京都看護協会への委託事業です。東京都ナースプラザが東京都に指定された「**地域就業支援施設**」と連携して実施します。

【研修対象者の要件】

1. 保健師、助産師、看護師、准看護師のいずれかの資格を有している方
2. 現在離職中で就業先が決まっていない方(内定者も対象外)
3. 都内施設への就業を希望する方
4. 研修の全日程に出席できる方

復職に向けて
応援します!!



研修プログラム

受講料無料

コース	研修場所 (地域就業支援施設)	研修期間	主な内容
病院体験 	都内の病院	① 3日・5日コース* (看護師・助産師)	① 講義、施設見学、演習(採血・点滴 ※腕モデル使用) 病棟実習(助産は産科病棟実習)、就業相談
		② 1日随時コース** (看護師・助産師)	② 講義、施設見学、演習(採血・点滴 ※腕モデル使用) 就業相談(後日)
施設体験 	都内の ・診療所 ・訪問看護 ステーション ・高齢者施設	① 3日コース*	① 講義、施設見学、施設体験、就業相談
		② 1日随時コース**	② 講義、施設見学、施設体験、就業相談(後日)

*3日・5日コースは研修日程が決まっています。東京都ナースプラザのホームページでご確認ください。

**1日随時コースは令和8年3月6日までの研修期間内で、研修生の希望日を調整して決定します。

【申込の流れ(e-ナースセンター登録後)】



※注意

1日随時コースの方は、研修申込完了画面の **研修希望日連絡フォーム** をクリックし、第1希望日から第3希望日(土日・祝日を除く)までを入力し、送信する

【受講生の声】



講義を通して今の看護を知り、病棟実習で実際に見学することができました。研修を通して、復職への気持ちが一歩進みました。

現場の実際を見たりいろいろな相談もすることができて貴重な体験になりました。実際に体験できることで不安が軽減しました。



【申込方法】 東京都ナースプラザのホームページ、または、上記の2次元コードよりお申込みください。

【問合せ先】 確保係 ☎03-6276-1718

就業・定着奨励金のご案内 看護職のお仕事をお探しの方へ



対象研修受講後、再就業で
最大**20万円**の奨励金

令和7(2025)年度も継続が決定し、新しくなってスタートしました。

NEW

- ・ 2025年4月以降の対象研修を受講
- ・ 受講証明書の有効期限は1年です

【5つの支給要件】

- ① 対象研修を受講した日の翌日から1年以内の再就業・再雇用である
- ② 都内の病院・クリニック・訪問看護ステーション^(※1)などに勤務している
- ③ 看護職で再就業・再雇用している
- ④ 1施設で1週間の所定労働時間20時間以上就労している^(※2)
- ⑤ 再就業・再雇用後、6か月または2年を継続して従事している

※1 都内にある、医療法その他の法令等に基づき、保健師、助産師、看護師、または准看護師のいずれかを配置する施設。
詳しくは就業・定着奨励金専用ページの「その他法令等に該当する施設一覧」をご覧ください。

※2 所定労働時間は、実働ではなく、雇用契約書等で確認できる時間です。



【申請書類】

- ① 就業・定着奨励金支給申請書
- ② 就労証明書(雇用元事業所に提出し、証明を受けて下さい)
- ③ 対象研修の「受講証明書」のコピー



受講証明書は
再発行しないから
気をつけてね

【申請時期】

就業を開始した日から起算し、継続して6か月または2年が経過した日(申請可能日)からその都度申請してください。申請期間は、申請可能日より**6か月以内(消印有効)**です。

(例)就業開始日:10月21日⇒6か月満了日:4月20日⇒申請期限日:10月20日(当日消印有効)

就業・定着奨励金ステップ



STEP1
対象研修
受講



STEP2
看護職で
再就業



STEP3
就業
6か月後
5万円



STEP4
2年間従事
15万円

就業・定着奨励金
専用ページ



詳細は就業・定着奨励金専用ページをチェックしてください

一シリーズー 仕事力をつける！

在宅・地域看護関連研修



在宅・地域看護関連研修
～在宅での
フィジカルアセスメント～

東京都ナースプラザでは、再就業を目指す看護職から新人看護師に向けた研修など、就業支援や看護職の資質向上のために、さまざまな研修を用意しています。今回は「在宅でのフィジカルアセスメント」を紹介します。

午前はフィジカルアセスメントの進め方やバイタルサイン、基本技術、思考過程などについて学び、午後は実技演習を含めた講習を行います。

す。講師はいずれも訪問看護認定看護師です。

演習では2人1組でお互いに「胸部の打診」や「心音の聴診」をし合い、実践に役立つフィジカルアセスメントの方法を学びました(写真1、2)。

また、モデル人形の異常呼吸音(副雑音)の聴き分けを、聴診器を使って行いました(写真3)。



1 胸部の打診

「肺のどの部分を打っているのかをイメージして」「骨の上ではなく、その間を打つように」という講師の指導に従い、前面と背面の両側からお互いの肋間を打診し、実際の音を確認します。



2 心音の聴診

まずは聴診器を用いて、お互いの心音を聴いてみます。「聴診器は管が太くて短いものがよく音が聞こえます」という講師のアドバイスがありました。



3 異常呼吸音の聴き分け

モデル人形の胸に聴診器をあて、「パリパリ」「ボコボコ」「グーグー」「ヒューヒュー」などの異常呼吸音(副雑音)を聴き分けます。

次回の予定

在宅でのフィジカルアセスメント

開催日：2026年1月20日(火) 9:30～16:30 申込締切日：2025年12月16日(火)

つれづれ…

物価高騰に令和の米騒動。。。なにか楽しいことはないかしら。「そうだ 看護のお仕事応援フェア、行こう!」。そういう気持ちに応えられるイベントになるよう、職員全員で準備に取り組んでいます。みなさまのお役に立つ企画をたくさん用意しています。ぜひご参加ください。お待ちしております。

岡崎 庸



東京都ナースプラザ(ナースバンク東京)

所在地：新宿区西新宿 4-2-19(東京都看護協会会館5階・2階)

- 都営大江戸線 西新宿五丁目駅 出口A1・A2から徒歩4分
- 東京メトロ丸ノ内線 西新宿駅 2番出口から徒歩10分

ナースバンク立川

所在地：立川市曙町 1-21-1 いちご立川ビル 6階

- JR中央線・青梅線・南武線 立川駅北口から徒歩7分
- 多摩都市モノレール線 立川北駅から徒歩7分

東京都ナースプラザ

検索

ホームページ

<https://www.np-tokyo.jp/>

Eメール

np@np-tokyo.jp

